

令和元年度神戸市人と猫との共生推進協議会 第4回定例会議録

1. 日 時

令和2年3月17日（火）14：00～16：00

2. 場 所

神戸市役所1号館21階1215号会議室

3. 出席者

(1) 構成団体11団体の内8団体出席（規約第6条第2項の規定により会議成立）

(2) 出席者氏名 資料1出席者名簿のとおり（一般傍聴者0名）

4. 議 事

【報告事項】

(1) 野良猫の繁殖制限事業の進捗状況（令和2年2月末現在）資料P2～4

令和元年度は、新たな支援申込134件、情報提供112件（過年度も含め支援申込と重複46件）があった。これらの支援申込、情報提供の計246件の内、事業部会で対策区域を定めて支援を行ったのは179件、過年度の支援申込、情報提供に対し支援を行ったのは42件であった。

また、一度支援を行った地域に対する追加の支援（猫管理票の追加発行した地域）は、今年度、過年度を併せると210件に上る。…資料P2

不妊去勢手術数は、雄904匹、雌976匹の合計1,880匹であった。このうち、今年度新たに支援した地域の猫の手術数は748匹で、一度支援を行った地域に対する追加の支援で手術数は、1132匹であった。このことは、TNR（野良猫の捕獲、手術、リリース）は、一度で終わることは困難で、複数年度にわたって継続して実施する必要があることを示唆している。

区別では、須磨区が410匹で最も多く、灘区が18匹で最も少なかった。…資料P3
過去3年間の累計では、新規申請件数は支援申込が499件、情報提供が383件の計882件、新規支援地域数は支援申込が447件、情報提供が202件の計649件、手術数は計5,775匹となっている。…資料P4

野良猫繁殖制限事業の実績を分かりやすいように地図上で見える化を試みた。支援申込や情報提供を地図上に落とし込んだ図と手術数の実績を地図上に落とし込んだ図を作成した。地図を見ることにより、市全体の申請状況や手術状況がわかりやすくなり、ちなみに市街地でも兵庫区、長田区に申請や手術数が集中していることがわかる。…資料P5

(2) 各種イベントへの参加状況

- ① 10月22日にしあわせの村で開催された動物愛護フェスタに出展し、パネル展示による啓発や募金を行った。T
- ② 10月27日にIKEA神戸で協議会主催の保護猫譲渡会を開催し、参加猫44匹の内、11匹が譲渡された。

(3) TNR実務者研修

10月29日に神戸市勤労会館で「身近に潜む人と動物の共通感染症について」と題して大阪府立大学笹井教授の研修会を開催し36名が受講した。

(4) 寄付、募金…資料P6

3月5日時点で企業、団体、個人からの寄付や動物病院、イベントでの募金により4,728,915円が集まった。

【協議事項】

(1) 令和2年度事業計画案…資料P7

① 地域猫活動と連携した野良猫の繁殖制限

不妊去勢手術を計画的・集中的に実施するために、野良猫に関する情報をもとに事業部会で審査を行い、対策区域ごとに、地区別計画を策定し、約1,500匹のTNRを実施する。

このほか、過去3年間の実施結果を踏まえ、事業の検証を行っていく。神戸市とも協議し、多面的な角度から検証を行いたいと考えています。

② 各種啓発

昨年3月に策定したガイドラインを活用し、現地調査、研修会、各種イベントをとおして人と猫との共生に係る啓発を行う。

③ 猫の譲渡の推進

ホームページで各団体の譲渡会情報を発信するとともに、協議会主催の譲渡会もIKEA神戸で開催する。

④ その他

各種会議の開催、ホームページの更新、寄付・募金集め、神戸市への報告などを行う。

(2) 令和2年度予算案…資料P8

① 収入

神戸市補助金1,100万円、繰越金10万円、寄付、募金260万円で合計1,370万円

② 支出

野良猫繁殖制限事業費12,722,000円（不妊去勢手術費用1,500匹、現地作業等の実費弁償、印刷経費など）、野良猫の給餌等に関する指導助言費60,000円、猫の譲渡推進事業120,000円（譲渡会事業の実費やホームページの運営費用）、定例会議費66,000円

（会議出席者交通費、会場借上げ費用）、事務費500,000円（文具、郵送料、コピーメン

テナンス料など）、保険料 132,000 円（ボランティア保険、賠償保険費用）、予備費 100,000 円で合計 13,700,000 円

（参考）令和元年度の決算見込…資料 P9

① 収入

神戸市補助金 1,300 万円（当初 1100 万円、追加 200 万円）、繰越金 697,073 円、募金・寄付 4,732,927 円で合計 18,430,000 円。

② 支出

野良猫繁殖制限事業費 17,452,000 円（2,080 匹分の手術見込）、野良猫の給餌等に関する指導助言費 50,000 円、猫の譲渡推進事業費 93,000 円、定例会議費 60,000 円、事務費 550,000 円、保険料 125,000 円の計 18,330,000 円、繰越金 100,000 円。

事業計画案、予算案ともに承認された。

【連絡事項】

(1) 神戸市より

- ・猫の引取・収容数は年々減少しており、一方譲渡数が増えることにより、殺処分率は年々減少している。
- ・地域猫活動の推進を図るため、団体登録を推進しており、今年度（2 月末）は過去最高の 138 団体が登録している。条例の周知度、野良猫の増減などに関し、自治会アンケート調査を行った。結果を基に今後の事業に活用していく。
- ・2 年度から 3 年度にかけて動物愛護事業の拠点整備を行う。しあわせの村内の既存施設を改修し、犬猫譲渡数を増やすとともに、動物愛護啓発事業の強化により愛護意識の向上を図る。令和 2 年度に設計、改修を行い、3 年度春頃に開所予定。

(2) 出席者より

- ・協議会が事業の情報発信をする際には、取り組んできたいろいろな成果を併せて発信し PR に努めてほしい。Knots
- ・啓発に関しては、飲食チェーン店などに啓発ポスターやチラシを置かしてもらうなどの協力を求めている。ネスレピュリナ
- ・次回の動物愛護フェスティバルではもっと猫を取り上げてほしい。猫ネット
- ・市住や公園での餌やりや市住の多頭崩壊などに関し、住宅や建設など関係部局と協議会の協議の場を設けてほしい。猫ネット
- ・千代田区では、区役所が猫祭りを主宰している。譲渡会も庁舎内で行い、かなり譲渡されている。発信力もすごい。動物福祉協会